かかりつけ医・歯科医・薬局を持ちましょう

診療所と病院の連携でみなさんの健康を守ります

　病気やけがの初期治療や慢性疾患の投薬などは身近な地域のかかりつけ医が受け持ち、専門的な治療や高度な検査、入院治療が必要な場合は、市立病院などの病院が紹介されます。症状が安定した場合には、再びかかりつけ医で治療を継続します。かかりつけ医を持っていただくことは、「必要なときに必要な医療が受けられる体制」の第一歩です。

【保健福祉課地域医療担当、高齢福祉介護課地域支援担当】

【市立病院医事課医事担当・市立病院地域医療連携室☎（52）1111】

地域完結型医療を目指して

市は急性期の治療から病状が安定した回復期、在宅医療に至るまで、地域全体で必要な医療が提供される「地域完結型医療」を推進しています。

　また、要介護状態になっても住み慣れた地域で、人生の最期まで自分らしい暮らしを続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の構築を目指しています。市では、その中核をなす在宅医療の推進に取り組んでいます。

かかりつけ医・歯科医・薬局は頼れる存在です

　かかりつけ医・歯科医・薬局は、日常的に医療を行うだけでなく、健康のちょっとした悩みや不安をいつでも気軽に相談できる存在です。地域にどのような医療機関・薬局があるのか確認し、自分に合ったかかりつけ医・歯科医・薬局を探しましょう。

　歯科では口腔ケア、薬局では処方薬の管理や説明なども受けることができます。

　普段かかっていれば、専門分野にかかわらず、あなたのかかりつけです。

　地域の医療機関は、市民便利帳「ちがさき生活ガイド」（市内公共施設で配布中）に掲載しています。

　また、インターネットでは「茅ヶ崎市医療機関・薬局ガイドサービス」や「かながわ医療情報検索サービス」で検索できます。

茅ヶ崎市医療機関・薬局ガイドサービス

かながわ医療情報検索サービス

高度で専門的な医療を提供する基幹病院としての市立病院

　茅ヶ崎市立病院は、急性期を担う地域の基幹病院として、また、地域医療支援病院・救急指定病院・災害拠点病院としても機能の充実を図るとともに、より重篤な患者への対応に注力できるよう、地域の医療機関との機能分化や病診連携を推進しています。

【急性期医療を担う基幹病院として】

　集中治療室（ICU）を設置し、急性期などの重症患者に対応する市立病院では、茅ヶ崎医師会や消防など関連機関との連携体制を築いています。さらに、茅ヶ崎市休

日・夜間急患センターとの連携強化や救急医療体制の充実を図っています。現在、市内で発生する救急搬送の45％近くを受け入れています。

【地域の医療機関との連携をさらに充実させる取り組み】

　取り組みの一つである「登録医制度」は、地域の診療所の医師に市立病院の登録医となっていただき、協力して地域の医療を支える仕組みです。登録医の件数は139施設（平成28年4月末現在）で、地域の多くの診療所と安全・安心な医療体制の構築に努めています。

【地域医療支援病院として】

　市立病院は、地域の診療所などでは対応が困難な専門的な治療や高度な検査、手術などを行い「地域完結型医療」の中心的役割を担っています。

　市立病院に初診でかかるときは、かかりつけ医（地域の診療所の医師）からの紹介状をお持ちください。紹介状がなく初診での受診をされる場合は、診療費とは別に選定療養費として2160円（税込）が必要です。外来診療では、「緊急を要する」「紹介状持参」「予約」などの患者さんを優先的に診療しています。

　入院診療では、看護体制を充実し、安全・安心な療養環境の提供に努めています。また、退院後の生活における不安や疑問については、地域医療連携室の専門相談員（看護師、社会福祉士）が相談に応じています。

茅ヶ崎市立病院に乳腺外科を開設しました

　このたび、乳腺疾患を専門に診断、治療する医師2人による乳腺外科を開設しました。

　湘南東部医療圏（茅ヶ崎市、藤沢市、寒川町）には、乳腺疾患を専門にする医師が少なく、多くの患者さんが圏外での治療を余儀なくされていました。

自宅で医療と介護を受けながら生活し続けたい！

医療と介護の連携強化へ

　平成25年度に市が実施した一般高齢者調査で、高齢者のうち54％の方が「在宅での介護」を希望していることが分かりました。また、平成37年に後期高齢者となる68歳（平成27年度現在）を対象にしたアンケート調査では、「病気や加齢などにより日常生活を送る上で看護や介護が必要になったとき、どのような看護や介護を希望するか」の設問に対し、56.5％の方が「家族や介護サービスなどを活用しながら自宅や子どもの家などで生活したい」と回答しました。今後、平均寿命の延伸とともに、医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者の方はますます増えてくるものと予測されます。

　このような状況を踏まえ、平成25年度から寒川町と協同で在宅医療介護連携推進事業に取り組んでいます。平成27年度は、医療福祉介護の関係機関代表者会議で、在宅医療や在宅医療と介護の連携の在り方について検討し、3つ（情報共有、在宅医療や医療と介護の連携、在宅医療と病院の連携）の部会を設け、医師のバックアップ体制づくりや関係機関のリスト作成などに取り組んできました。また、医療・福祉・介護の人材育成のため、多職種連携研修会を開催しています。この研修会は平成26年度から、これまでに8回開催し、延べ2000人以上の方が参加しています。平成28年度は前年度の取り組みを継続するとともに、（仮称）連携支援室の設置に向けた準備を加速します。

　在宅医療を支える医療チームと在宅生活を支える介護チームが、連携協力しながら、患者やその家族を支えていきます

男女共同参画週間

6月23日㈭～29日㈬

期間中、男女共同参画推進センターいこりあのロビーでパネル展を開催！

登録団体の活動などを、ぜひご覧ください。

“意識をカイカク。 男女でサンカク。 社会をヘンカク。”

平成28年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ（最優秀賞）

　男女共同参画週間は、 男女が、 互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、 性別にかかわりなく、 その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の形成に向け、 理解を深めるために設けられています。 男性と女性が、 職場で、 学校で、 地域で、 家庭で、 それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、 一人一人の取り組みが必要です。 私たちのまわりの男女のパートナーシップについて、 この機会に考えてみませんか。

【男女共同参画課男女共同推進担当☎（57）1414】

中小企業、個人商店向け　従業員の福利厚生事業

湘南勤労者福祉サービスセンター「しおかぜ湘南」

　市は、 藤沢市、 鎌倉市との広域連携により「湘南勤労者福祉サービスセンター事業」に参画しています。 この事業は、 単独では実施が難しい中小企業や個人商店などの従業員の福利厚生事業について、 湘南勤労者福祉サービスセンター（藤沢市藤沢）がさまざまなサービスを提供するものです。

　今年度は日帰りバス旅行、 落花生＆サツマイモ掘り体験、 東京ディズニーリゾート「パーク ・ ファン ・ パーティ」の他、 人間ドック受検料補助や宿泊補助などの事業を予定しています。

●加入条件

事業所単位の加入

茅ヶ崎市 ・ 藤沢市 ・ 鎌倉市内の事業所で、 常時雇用する従業員300人以下の事業主および従業員（パートタイマーも可）の方

個人加入

茅ヶ崎市 ・ 藤沢市 ・ 鎌倉市内在住で市外の中小企業に勤務する方で、 勤務地に同種の制度がない方

●会費

1人月額500円（原則事業主が負担）

●メリット

　事業主

・事務や経費の負担が少なく、 従業員の福利厚生の充実が図れる

・当事業の経費は、 法人企業は損金、 個人企業は必要経費として計上できる従業員

・各種事業、 施設を割引料金で利用できる

・余暇活動を充実させることができる

加入のお申し込み、お問い合わせは湘南勤労者福祉サービスセンターへ

　☎0466(50)3900　月〜金曜日（祝日を除く）

　8時30分～17時15分（12時～13時は除く）

【雇用労働課雇用労働担当】

ふるさと基金寄付金

平成27年度の活用状況

　市では、みなさんからいただいた寄付を地域の特性を生かしたまちづくりに役立てるため、「茅ヶ崎市ふるさと基金」を設置しています。寄付してくださったみなさんの意向に沿って、平成27年度に実施した事業の貴重な財源として、表のとおり活用させていただきました。ありがとうございました。

　引き続き、ふるさと基金への寄付をお待ちしています。

【財政課財政担当】

ふるさと基金寄付金の使途 充当事業名 活用内容 金　額

教育、スポーツの振興

青少年健全育成事業費

子どもの安全を守る都市の推進事業を充実させるため、防犯ブザーなどの啓発物品を購入　20万円

学校管理用備品整備事業費

小学校の教育環境の充実を図るため、児童用机・椅子を購入 2万5000円

健康、福祉の増進

（仮称）香川駅前子育て支援センター整備事業費

香川駅前子育て支援センター運営のための備品などを購入　43万円

店舗活用型事業費

障害者の就労支援を目的とした庁舎喫茶スペース「カフェ・ドットコム」運営のための調理器具を購入　5万2000円

母子家庭父子家庭親子ふれあい事業費

相互扶助の育成と生活意欲の向上を図るため、母子家庭父子家庭などの親子と家庭同士の交流事業を実施　35万円

環境保全、創造

最終処分場経費

資源循環型社会の構築、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るため、焼却灰などを再資源化 5万円

安全で快適なまちづくり

消防防災フェスティバル開催事業費

消防・防災意識をさらに深めるため、オリジナルグッズなどを購入　20万円

消防車両整備事業費 老朽化した高規格救急自動車を更新　1000万円

海浜の維持保全

漁港海岸環境整備事業費

市内の海岸侵食対策のため、養浜を実施 8万円

地域の特性を生かしたまちづくり

道の駅整備推進事業費　道の駅整備に向けた地質・土質予備調査を実施　280万円

文化資料館移転・整備事業費 文化資料館整備基本計画を策定 430万円

自転車プラン推進事業費　自転車利用者と歩行者の安全性を向上させるため、鉄砲道の一部に自転車走行環境を整備　299万4000円

（仮称）香川駅周辺地区出張所整備事業費 香川駅前出張所運営のための備品などを購入 26万9000円

合計 2175万円